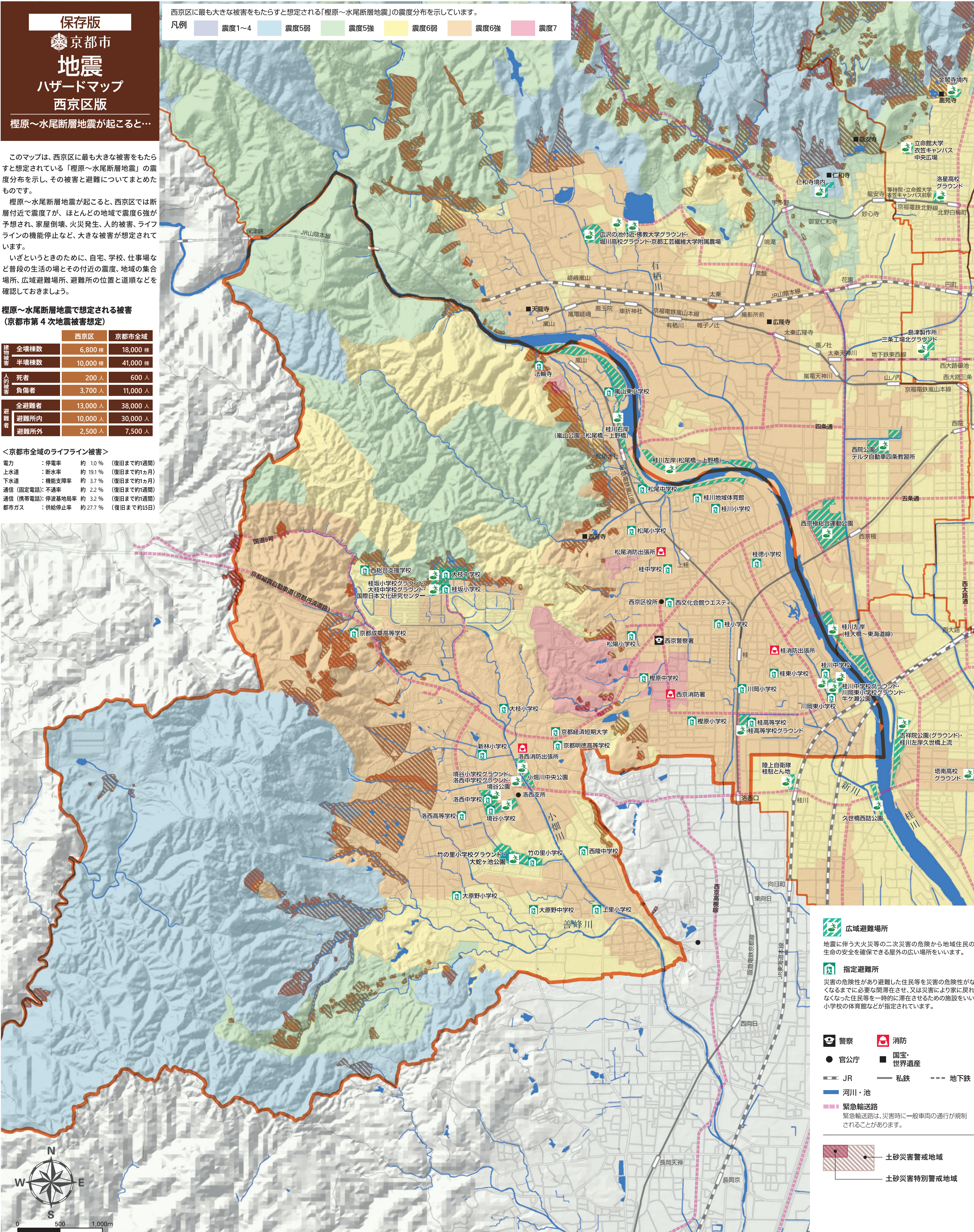




広域避難場所

地震に伴う大火災等の二次災害の危険から地域住民の生命の安全を確保できる屋外の広い場所をいいます。

指定避難所

災害の危険性がより避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、又は災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設をいい、小学校の体育館などが指定されています。

警察

● 官公庁

消防

■ 国・宝・世界遺産

— JR — 私鉄 - - - 地下鉄

— 河川・池

緊急輸送路

緊急輸送路は、災害時に一般車両の通行が規制されることがあります。

土砂災害警戒地域

土砂災害特別警戒地域

防災メモ

地震のときに避難する場所を家族みんなで確認しておきましょう。

地域の集会所

指定避難所

広域避難場所

※ 上記避難先の説明については裏面に記載しています。

震度と揺れ等の状況

震度1~4

震度1 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。

震度2 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。

震度3 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。

震度4 ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。

震度5弱

大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

●耐震性の低い木造建物は、壁などに軽微なひび割れ・亀裂が入ることがある。

●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは、倒れることがある。

●亀裂や液状化、落石、がけ崩れが発生することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。

震度5強

物につかまらないうまく歩くことが難しい。

●耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、壁、梁、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。

●棚にある食料類や本で落ちるものがある。固定していない家具が倒れることがある。

●補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱

立っていることが困難になる。

●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。

●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。

●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度6強

はわないと動くことができない。飛ばされることもある。

●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。

●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

震度7

動くこともできず、飛ばされることもある。

●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。

●耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、倒れるものが増える。

●広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。

●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。